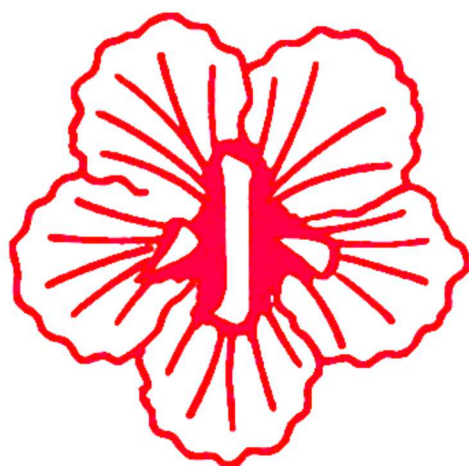


平成28年度

# 授業改善推進プラン



小笠原村立小笠原小学校

## 【今後の指導の工夫】 国語 基礎問題

### 【1年生】

- ①授業時間内に漢字や小テストをこまめに取り入れ、既習漢字の定着を図る。
- ②スキルタイムを活用して、反復練習を行い、漢字や言語の定着を図る。
- ③週に1～2度、短文での日記に取り組みさせる。5W1Hのルールに当てはめることで、順序だてて書くことの定着を図る。

### 【2年生】

- ①授業時間内に漢字クイズや小テストをこまめに取り入れ、既習漢字の定着を図る。
- ②スキルタイムを活用して反復練習を行い、漢字や言語の定着を図る。
- ③毎日「3分間作文」に取り組みさせることによって、「書くこと」の経験を増やす。毎回テーマを決めて取り組みさせることで、相手や目的を考えた簡単な文章の組み立てができるようにしていく。

### 【3年生】

- ①漢字の10種の画を指導して、漢字を図的に捉えるのではなく線の組み合わせとして捉えられるようにする。また、どの画が使われているのか注意深く見て、書くことで強く印象をもてるようにする。
- ②漢字を熟語で書くことで日常的に使えるようにするとともに、日常的に使うことで覚えられるようにする。
- ③物語では、1人読みの時間とみんなで共有する時間を設け、一人一人の読解を保障しつつ友達との意見交流を通して読み深められるようにする。文全体の構成について起承転結をもとに理解させ、内容の大体をつかませるようにする。
- ④説明文では、初め・中・終わりの構成をもとに、問いと答えの大体や事実の部分と筆者の考えの部分をつかませられるようにする。

#### 【4年生】

- ①授業時間内に漢字クイズやミニテストを取り入れ、漢字への関心を高める。
- ②スキルタイムを活用して反復練習を行い、漢字や言語の定着を図る。
- ③日常の「書くこと」の指導では国語辞典や漢字辞典を用いて漢字や言語の正しい用法を確認しながら取り組めるようにする。
- ④「読むこと」の指導では根拠となる叙述にサイドラインを引きながら読み取りを進めることで、語句に着目できるようにする。

#### 【5年生】

- ①友達同士の教え合いや友達の話をしっかり聞いて考えを共有すること。自分の考えを順序立て説明することを、授業中の基本として進めていく。
- ②生活作文や学習の振り返り、物語作り、活動報告書などたくさんのジャンルの「書くこと」に日常的（他教科の時間も関連させ）に取り組んでいく。
- ③「相手や目的に応じて適切に書く」「段落と段落の続き方」を意識した文章作りを授業やスキルタイムの中で適切に行っていく。

#### 【6年生】

- ①漢字ドリル、漢字ばっちりノートを併用して「漢字小テスト」を定期的に進めていく。また漢字能力検定を視野に入れて、新出漢字だけでなく復習を重ね小学校で習う漢字の全習得を目指す。
- ②音読場面を多く設定し、家庭学習の音読の充実を図る。
- ③「話すこと」では作文やメモを使って、順序だててわかりやすく話すことを目指していく。
- ④『めあて』『問題』『学習感想』等、教科に応じて決まった1時間の流れを習慣化し、見通しをもって学習に取り組ませる。そして、見直しのできるノート作りを意識させ、家庭学習で復習ができるようにする。

## 【今後の指導の工夫】算数 基礎問題

### 【1年生】

- ①学習の導入に百玉そろばんを活用し、10の合成を順唱・逆唱させることを習慣にし、定着を図る。
- ②スキルタイムを活用し、簡単な計算問題でタイムを測り、反復練習で素早く計算処理する力を伸ばす。
- ③日常生活の中で常に時間を意識させ、一人一人に「何時何分」と発言させる機会を積極的に設ける。
- ④単元の導入で既習事項の復習を行い、定着を確実にする。
- ⑤一度分解してから改めて形に戻すことで、積み木の数を正確に回答する反復練習を行う。

### 【2年生】

- ①数と計算・数量関係では、まずは具体物を操作し、その上で10の合成、100マス計算などに繰り返し取り組ませることで、数感覚をつけさせていく。
- ②量と測定の「時計」では、時計版を黒板に貼り、常に時間を意識させていく。
- ③図形では、実際に立体模型を触って形の特徴を捉えたり、共通点を基に形を仲間ごとにわけたりするなど、体験を重視した授業に取り組むことで、空間認識力を高めていく。

### 【3年生】

- ①量と測定では、体験的な活動を通して量感を養い、イメージをもてるようにする。
- ②時刻と時間では、日常的に時計を見て行動する習慣を付け、生活上の時刻の設定や時間の量感を養っていくようにする。
- ③図形では、四角形や三角形などの基本図形の理解を図るようにする。
- ④計算の仕組みを具体物やタイル図、ドット図などを用いて理解させると同時に、自力解答する手段として使いこなせるように繰り返し取り組ませるようにする。

#### 【4年生】

- ①授業時間内に漢字クイズやミニテストを取り入れ、漢字への関心を高める。
- ②スキルタイムを活用して反復練習を行い、漢字や言語の定着を図る。
- ③日常の「書くこと」の指導では国語辞典や漢字辞典を用いて漢字や言語の正しい用法を確認しながら取り組めるようにする。
- ④「読むこと」の指導では根拠となる叙述にサイドラインを引きながら読み取りを進めることで、語句に着目できるようにする。

#### 【5年生】

- ①友達同士の教え合いや、友達の話をしっかり聞いて考えを共有することや、自分の考えを順序立てて式や図、分で書いたり説明したりすることを大切にしながら授業を進める。
- ②図形、具体物、操作を取り入れた活動も多く取り入れ、量感などを大切にしながら問題解決を重ねていく。

#### 【6年生】

- ①新しい単元の習得はもちろんだが、中学年からの復習問題も計画的に取り組む。特に「小数・分数の計算」の演習を多くする。
- ②友達同士の教え合いや、友達の話をしっかり聞いて考えを共有することや、自分の考えを順序立てて式や図、文で書いたり説明したりすることを大切にしながら授業を進める。
- ③図形、具体物、操作を取り入れた活動も多く取り入れ、量感などを大切にしながら問題解決を重ねていく。
- ④『めあて』『問題』『学習感想』等、教科に応じて決まった1時間の流れを習慣化し、見通しをもって学習に取り組ませる。そして、見直しのできるノート作りを意識させ、家庭学習で復習ができるようにする。

## 【今後の指導の工夫】 国語 活用問題

### 【1年生】

- ①短い物語文を読み聞かせた後、内容についての簡単な発問に回答することで、考えながら聞く習慣をつけさせる。
- ②スキルタイムを活用して言語の反復練習を行い、正確に表記できるようにする。
- ③物語文をイラストで分割し、時系列に並べて理由を説明する反復練習を行う。
- ④学級全体で、友達のことを紹介する他己紹介を行う。

### 【2年生】

- ①説明文では、話のまとめり・順序に気をつけて読むために、段落に合わせた写真の並び替えや説明書きに繰り返し取り組ませるようにする。
- ②物語では、起承転結の構成を理解させて、内容の大体をつかませるようにする。
- ③日常的に「書く」時間を確保することで、抵抗なく文章を書けるような経験を増やす。書いたものをこまめフィードバックすることで、題意に即した文章を書く力を育てていく。

### 【3年生】

- ①話の聞き取りでは、大事なことは何か、話の主旨を考えさせるようにする。国語以外の教科や日常生活においても話の内容の中心を意識して聞き取らせるようにする。
- ②物語に対する自分の読解と友達の多様な読解を共有させ、より物語の世界観に入り込めるようにする。そして、その面白さから興味関心を高められるようにする。
- ③作文では、学校での身近な出来事から題材を決めて、書きたい内容を中心に据えて書けるように、構成表や組み立て用紙で思考を整理していけるようにする。

#### 【4年生】

- ①意見交流の場や学級会で、出された意見が自分の意見と似ているか違うか考えさせるようにする。
- ②定期的にローマ字の読み取り、書き取りを行い、PC操作を通して活用できるようにしていく。
- ③文章の内容を要約したり、それを基に紹介したりする活動で、内容の説明力を高める。
- ④スキルタイムに試験形式の回答練習を継続して行い、回答の仕方に慣れる。
- ⑤授業内で時間を定めて活動する機会を設け、時間内に活動を終える習慣をつける。

#### 【5年生】

- ①生活作文や学習の振り返り、物語作り、活動報告書などたくさんのジャンルの「書くこと」に日他教科の時間も関連させ)に取り組んでいく。書いたものを、仲間と共有し、アドバイスやいい所を見つけ合う中で、お互いの興味関心や表現力を高めていく。
- ②自分の考えが伝わるように書くことを声かけや説明などを通して継続的に指導していく。
- ③単元テストを用いて全国平均とクラス平均、個人の学期平均を検証、授業を改善していく。

#### 【6年生】

- ①「話すこと」では、ポイントを押さえたメモの取り方指導を工夫する。
- ②「聞くこと」では、要点をまとめたり、友達の主張を理解したりする活動を多くする。
- ③「書くこと」では、生活作文や学習の振り返り、物語作り、活動報告書などに取り組んでいく。書いたものを、仲間と共有し、アドバイスやいい所を見つけ合う中で、お互いの興味関心や表現力などを高めていく。自分の考えが伝わるように書くことを、声かけや説明などを通して継続的に指導していく。
- ④単元テストを用いて全国平均とクラス平均、個人の学期平均を検証、授業を改善していく。
- ⑤小テストや国語読解習熟プリント等で多くの演習を行う。

## 【今後の指導の工夫】算数 活用問題

### 【1年生】

- ①スキルタイムを活用し、絵や具体物など視覚教材で理解を深め、繰り返し取り組ませる。
- ②学習の導入で、イラストやブロック、文章で自分の考えを表現する機会を多く設ける。スモールステップで、相手を意識して説明することにつなげる。
- ③形の認識に課題があるため、立体図形の特徴を仲間わけしたり、立体図形の面を写し取って絵を描いたり、ゲーム形式で取り組ませる。繰り返し行うことで、形を正確に認識させる。

### 【2年生】

- ①スキルタイムを活用し、異なるものの大小比較や差を問う文章題に繰り返し取り組む。
- ②1時間の授業の中で1回は「自分の考え」を説明する機会を設定し、まずは自分の考えを表出していく経験を積ませる。つぎに、自分の考えと友達のと共通点などにも気付くことができるように授業内で「友達の考え」を共有していく場を確保していく。
- ③形の認識については、体験の場を多く設定していく。体験して気づいたこと（例えば、形の下は三角形でとがっているなど）を自分の言葉でノートにまとめていく時間を大切に、経験したことをもとに「活用する力」をつけさせていく。

### 【3年生】

- ①既習事項を用いた応用問題や逆思考の問題に取り組ませ、応用力を付ける。
- ②具体物操作などの体験的な活動を通して、数の量的な概念を捉えられるようにする。
- ③問題文の読解では、下線を引いたり、丸で囲んだりして重要ところが捉えられるようにする。
- ④友達の考えを共有することや自分の考えを順序立てて書いたり説明したりすることで、思考を整理していけるようにする。



#### 【4年生】

- ①考えを図表で説明できた子には文章でも説明するよう声をかけ、自分の考えを分かりやすく説明する力を高める。
- ②国語科で語句に着目し、文章に即して読む力を育てる。
- ③友達の図や式から友達がどのように考えたのか予想し、説明し合う活動を取り入れることで、図や式から判断する力を高める。
- ④単元の最後に、既習事項を生かした応用問題に取り組み、練習を繰り返すことで、さまざまな問題を解決する力を高める。

#### 【5年生】

- ①友達同士の教え合いや、友達の話をしっかり聞いて考えを共有することや、自分の考えを順序立てて式や図、分で書いたり説明したりすることを大切にしながら授業を進め、自分の考えを表現できるようにしていく。
- ②図形、具体物、操作を取り入れた活動も多く取り入れ、量感などを大切にしながら問題解決を重ねていく。
- ③算数「時間のきまり」で学習した、□を使った式や計算の交換法則、分配法則などの既習事項を、高学年の単元でも生かしながら、学習を重ねていく。
- ④単元テスト、全国平均とクラス平均、個人の学期平均を検証しながら、授業改善を行っていく。

#### 【6年生】

- ①単元テストを用いて全国平均とクラス平均、個人の学期平均を検証、授業を改善していく。
- ②小テストや算数習熟プリント等で多くの演習を行う。
- ③友達同士の教え合いや、友達の話をしっかり聞いて考えを共有することや、自分の考えを順序立てて式や図、文で書いたり説明したりすることを大切にしながら授業を進め、自分の考えを表現できるようにしていく。
- ④図形、具体物、操作を取り入れた活動も多く取り入れ、量感などを大切にしながら問題解決を重ねていく。
- ⑤算数「単位量あたりの大きさ」で学習した、大きさ比べや平均の求め方などの既習事項を、6年生の単元でも生かしながら、学習を積み重ねていく。